



「life is music 3」

ryo fukawa

2015.6.24 (WED) on sale

track list

01. music feat.fussy
02. coffee bossa feat.kaori sakakibara
03. feel like makin' love feat.maria
04. midsummer
05. misty
06. sunny road
07. smile feat.maria
08. I'll remember feat.mari mizuno
09. summer feat. fussy
10. we've only just begun feat.maria
11. まわれ! ミラーボール ~don't stop the music~
12. let me dance
13. あの素晴らしい愛をもう一度
14. sunrise

全14曲収録 2,500円(税込) テノヒラレコード [DQC-1491]

ふかわりょうが描く、カラフルでポップな夏。

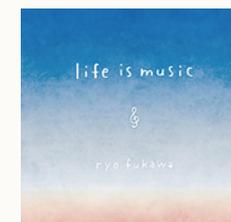
風のように心地よいサウンドたちが、今年も日本中を駆け抜ける!!

いまやタ方の顔としておなじみの“ふかわりょう”が今年もアルバムをリリース!! 自身のレーベル「テノヒラレコード」を立ち上げ、精力的に楽曲制作を続けるなか、今回も“ROCKETMAN”を取り払い、“ryo fukawa”名義でリリースする。DJ歴15年。幼少期からクラシックピアノを習い、いまではピアノ演奏会を開催している彼だからこそ描ける、音楽性。

ハウス、EDM からチルアウトまで、夏にぴったりでカラフルなサウンドが押し寄せてくる。その名も「music」という楽曲からはじまるように、音楽に対する敬意と愛情に溢れた、聴く者に心地よい時間を与える一枚。

今回は、謎の風刺ラッパー・fussyをはじめ、paris matchのミズノマリやLampの榎原香保里、「5時に夢中!」でおなじみのマリア・テレサ・ガウがゲストボーカルとして参加。

ロバータ・フラックの「Feel like makin' love」、カーペンターズの「愛のプレリュード」、そしてチャップリンの「smile」やジャズ・スタンダードの「misty」など、世界的ヒットナンバーに加え、時代を超えた名曲「あの素晴らしい愛をもう一度」をダンスチューンに大胆アレンジ。世代を越え、国境を越え、多くの人に愛される作品になっている。



life is music
2013.7.24 out



life is music 2
2014.7.23 out

ふかわりょう オフィシャルサイト
happynote.jp





ryo fukawa

ふかわりょう

[DJ ROCKETMAN]

- ふかわりょう オフィシャルサイト -
happynote.jp

- ふかわりょう オフィシャルブログ -
ameblo.jp/fukawa--ryo/



PROFILE

お笑い芸人として芸能界でデビューするも、幼少期からピアノを愛し、音楽への情熱がおさまらず、全国各地でDJをしながらトラック制作を開始。作詞・作曲・プログラミングすべてを行っている。

数年後、自身のトラックでアルバム「love, sea and music」をリリース以降、トリンドル玲奈や川嶋あい、May J.そしてVERBAL(m-flo)らとコラボレーションをするなど、シングル・アルバムともにコンスタントにリリースを続ける。また、自身の唄う「dancemusic」は、iTunes総合チャートで1位を獲得。

2013年、「ROCKETMAN」という名義をなくし、「ryo fukawa」で発表することになったのは、これまで培ってきた経験と実績によるもので、音楽への想いが本物であることと、自分の音楽を表現すること、つまり、アーティストであるという自覚と自信の表れである。



NEW ALBUM



life is music 3

2015.6.24 out

iTunes



... and more!!

SUMMER EVENT

毎年 8月
ROCKETMAN SUMMER FES'
~ thank you for the music!! ~
@東京・恵比寿 LIQUIDROOM



REGULAR PROGRAM

J-WAVE
「LIFE IS MUSIC」
毎週土曜 27:00 ~ 29:00
www.j-wave.co.jp/original/lifeismusic/

NHK-FM
「きらクラ!」
毎週日曜 14:00 ~ 16:00
www4.nhk.or.jp/kira/

TOKYO MX
「5時に夢中!」
毎週月~金曜 17:00 ~ 18:00
www.mxtv.co.jp/goji/

TBS
「ひるおび!」
隔週木曜 11:00 ~ 13:50
www.tbs.co.jp/hiru-obi/

文化放送
「大竹まことのゴールデンラジオ!」
毎週木曜 15:05 ~
www.joqr.co.jp/golden/

REGULAR DJ EVENT

毎月 第3金曜
「ROCKETMAN DELUXE」
@東京・三宿 WEB

IRREGULAR EVENT

不定期
「フーマンの日曜日」
@東京・永福町 sonorium



ryo fukawa

ふかわりょう

[DJ ROCKETMAN]

- ふかわりょう オフィシャルサイト -
happynote.jp
- ふかわりょう オフィシャルブログ -
ameblo.jp/fukawa--ryo/



thank you for the music!

僕がそれに出会ったのはいつのことでしょう。ビートルズのCDを買ったとき、ピアノを習いはじめたとき、兄のレコードをあさっていたとき、もしかしたらもっと昔、それぞれ母親のお腹の中にいたときかもしれません。多感な青春時代、はじめて人を好きになったとき、不安定な気持ちはあつという間に音楽に包囲されました。それからというもの、音楽はいつも僕のそばにいて、気がつけば川の流れるように、僕の人生に寄り添って流れています。でもそれは映画のBGMのようにではなく、言葉だけでは埋まらない心の隙間を埋めるように体内を流れ、いつしか僕にとってなくてはならない存在。それくらい音楽を必要とするのはもはや僕に限ったことではないでしょう。

この世に音楽が生まれてから今日まで、そのカタチや聴かれ方こそ変わったものの、ずっと人々に愛されてきたことに変わりありません。いつだって世界のどこかで誰かが歌を歌い、地球上でそれは、鳴り止むことはないのです。音楽によって、人々は喜び、どんな悲しみも乗り越えてきました。もしもこの世から音楽がなくなったら、それは食料が尽きてしまうよりも人々をおかしくさせてしまうかもしれません。音楽を聴かないという人もたまにいますが、嫌いだという人には出会ったことはありません。たとえ積極的に聴かないとしても、日常生活の中で音楽から切り離されることは困難でしょう。どの時代も音楽は人々の心を潤し、世界をやさしく包んできたのです。でも、僕にとって音楽は、もうひとつ役割がありました。

「曲をつくりたい」

それは意図したものではなく、いてもたってもいられなくなって、まるで爆発するようにはじまりました。自己表現としての音楽。もちろん

最初はそんな言葉さえ浮かばないまま、ただがむしゃらに鍵盤を叩いていました。楽譜を演奏するのではなく、自ら音楽を創る。僕にとってそれは言葉を発する以上に自分の中にあるものをぶちまけるようなもの。言葉のように簡単に飾ることも嘘をつくこともできず、自分の中にある言葉にならない部分がどんどん音になってあふれてしまう。そして音楽が、聴くものだけでなく、言葉では足りない部分、自分を素直に表現するものとしてとても大事な存在になりました。

心を潤してくれる音楽、自分を表現する音楽。どうしてそんなに自分を表現したいのでしょうか。きっとそれは世界があるから。生物が環境に合わせて姿かたちを変えるように、僕はこの環境に育って、このような人間になりました。この世界だからこそ思うこと、この世界だから感じること。音楽は、言葉と同じように僕の内側にあるものを外側に届けてくれるもの。人の内面は、世界との相関関係にあるから、僕の内面は外側の世界によるもので、内面でできたものを外側の世界に発散する。そしてゆっくりと世界は動いていく。つまり音楽は、僕と世界との折り合いをつける場所なのです。

音楽とお笑いどちらが重要ですか、という質問をこれまで何度と浴びせられるたびに僕は返答に困りながらもなにかうまいことを言おうとして太字になるようなことを言おうとするのだけどころどいいものが見つからないままどっちが大事とかそんなこと考える必要もないしこれって右手と左手どっちが大切ですかって質問と同じだからもちろん利き腕はあるけれどどっちも失いたくないとか手だけじゃなく足だってお尻だって肩だって膝だってどれも失いたくないから自分を表現するのに必要なものはぜんぶ重要とか答えたりするのだけど

本音を言えば質問されたからそう答えただけの話で、実はそんなこと一度も考えたことはないし考えたくもないのです。

ただ、いま思うのは、お笑い芸人だからこそ、別の場所があったからこそ、純粹に表現できなかったんじゃないかなということ。良くも悪くも売れることが一番大切なことではなく、自分のなかにあるものを伝えたいということが一番大切なものさしだったから。テレビの仕事はどうしても嘘がつきもの。嘘をつけばつくほど、本当の自分を表現しなくなる。歪められた自分を矯正しようとする力がはたらく。伝えたい自分の真実、それが僕にとって音楽だったのかもしれない。いまは音楽もお笑いも、どちらも自分を表現する大切な場所。やがてはどちらの場所でも自分の真実を表現できるようにならなくてはと思います。そして60歳、80歳になっても、両方を楽しんでいるおじいちゃんでありたいと願うのです。

自分を表現する音楽、自分の心を包んでくれる音楽。両者はつながっていて、心の隙間からはいつか来た音楽が自己表現の音の材料になる。その音楽がやがて世界に飛び出して、誰かの心を包んでいたらとても素敵なことでしょう。言葉も音楽も愛を運ぶもの。きっと世界は愛にあふれているのです。